

ペガちゃんフロ8 「サンドクラフト」(潮位が低い場合) [小学5年理科]

ねらい	当所の活動プログラム「サンドクラフト」と小学校学習指導要領（平成29年3月改）理科における第5学年「B 生命・地球」（3）「流れる水の働きと土地の変化」と関連させたプログラムである。万之瀬川下流域の自然環境を生かして、川の流れる水の速さや量に着目して、それらと土地の変化とを関係付けして、流れる水の働きを実際に調べ、これまで学習してきた内容と結び付けて知識・理解の定着を図ることをねらいとしている。
概要	サンドクラフト研修で河口域の川岸の様子を観察し、既習事項を確認することができる。
よさ	○ サンドクラフト研修の合間に、既習した内容（岸壁の様子や岸にある石や砂の大きさ）を目で見て確認することができる。

- 校種・学年 小学校 第5学年
- 教科 理科
- 領域 B 生命・地球 （3）流れる水の働きと土地の変化
- 展開 (例)

過程	主な学習活動 ※（ ）…指導者	時間(分)	指導の手立て
導入	1 上ノ山橋付近まで自然散策をする。(引率者)	15	○ GoogleEarthや地図を活用して現在地を確認する。 ○ 既習事項を振り返り、万之瀬川の川岸の様子を確認する。
展開	2 学習のめあてをつかむ。(引率者) 水の量を変えて、流れる水の働きを調べ、万之瀬川の川岸がどのように工夫されている確認しよう。	5	○ サンセットブリッジの下で流れる水の働きの実験をすることを伝え、意欲を高めるようにする。
	3 学習の方法を知り、見通しを持つ。 (1) 道具の確認をする。 (2) 道具の使い方を確認する。 (3) 学習の視点を確認する。	5	○ サンドクラフト研修における安全面等について確認する。 ・ 道具の数の確認。 ・ 道具の使い方の確認。 ・ 勝手な行動をしない。
終末	4 サンドクラフトを実際にやってみて、流れる水のはたらきについて考察する。→課題について根拠を明確にして説明する。	60	○ 山を作り、流す水の量を変えて、カーブの両側の様子を確認する。(目印になる物を設置する。)
	5 学習のまとめをする。(引率者) ・ 川の曲がった箇所では外側で水のはたらきが大きく、内側が小さい。 ・ 内側に比べて外側の流れが速い。 ・ 浸食を防ぐために外側はコンクリートで補強されている。	5	○ 流れる水の速さによって、両岸の浸食や堆積の様子がどのように変わるか児童の言葉で発言させるようにする。 ○ サンセットブリッジに上がり、上流を見て、両岸がどのようなになっている確認をする。

- 事前に準備するもの
(自然の家)： 移植ごて、バケツ、ペインティングナイフ、塩ビ管(小)、スコップ
(学校)： ビニル袋、汚れてもよい服・靴、軍手、帽子、水筒